

会報

1985/NO.12

昭和60年10月28日発行

長野県建築設計監理協会

事務局：長野市南長野妻科426-1長野県建築士会館3階
TEL 0262(32)3897



住まいと環境

衣・食・住と言いますが、衣・食に比べ住(建築)の知識は薄いのではないかでしょうか。あなたの周辺で一つの建築ができあがると、その周辺の街の様子が一変することに気づかれたことがあると思います。それは良くなる場合もありますが反対に悪くなることもあるのです。建物が単に一つのものではなく、環境に強い影響を持っている証拠です。

会と会員

長野県建築設計監理協会の会員は、建築設計監理の専門家の集団です（会の名前のうち監理については後で述べます）。

設計とは

設計とは、単に紙に鉛筆で図面をかくことのように思われていますが、実は図面に表わされる段階になれば設計という仕事の大部分が終わっているのだ

と言っても過言ではありません。図面化する前に、住む人の生活を考え、その建物の美しさ、丈夫さを考え、更に街なみを、環境を考えなければなりません。のために周到な事前調査、設計者の蓄積された豊富なノウハウ、建てる人との話し合いなどに十分の時間を費すのです。

建築設計監理とは

監理とは

その道の専門家による第3者の監査機能が必要になります。私達が「監理」と言っている仕事は、設計が終わり工事が始まる時点から完成まで、またその後のアフタケアまで、建てる人(建築主)と、工事をする人(建設会社)の中間の立場で工事全体を監査することを言います。

私達会員は、建設会社、建築材料製造、販売会社などと利益上の関わりの無いことを会員資格の条件としてあります。

設計料について

医師、弁護士は営利追求の仕事でないことはご存知でしょうが、私達の仕事も同質であると考えております。正当な報酬については建設大臣の告示が出ておりまし、会員は当然これに価する仕事をすることをお約束します。

むすび

会員は、社会、地域、建築主、建設会社の信頼に応える良い「しごと」をする使命感を持って行動いたしております。何ごとによらず協会または会員にご相談、ご質問くださることを期待いたしております。

(長野県建築設計監理協会)

もくじ

■旧軽井沢郵便局（北佐久郡軽井沢町）

明治44年7月に建てられた旧軽井沢郵便局は、現在軽井沢観光会館として使用されている。建物は木造2階建て延べ650.3m²で、屋根には干のマークが入った鬼がわら（銅板製）をのせ、下見板張りの壁にはガラス張りの窓を配するなどして、洋館特有の淡いピンク色のペンキで仕上げている。観光会館となった現在も、国際的避暑地にふさわしい洋館として多くの観光客が訪れている。
(写真：信濃路出版株提供)

「社会的地位の向上めざし」	飯島 和夫	3
設監協NEWS		4
「所員委員会聞く」	佐藤 友治	6
《会員事務所作品紹介》一株城取建築設計事務所		8
テクニカルシート—株本久・株鍋久		10
ずいひつ「信濃路の思い出」	今井 通子	12
賛助会員名簿		13
会務報告・正会員名簿・編集後記		14

社会的地位の向上めざし

飯島 和夫



私が業務を通じて感じることは、社会一般において建築設計事務所の設計および工事監理の業務が充分理解されていないのではないかということです。

『美しい生活環境の創造と保全には建築士事務所が必要なんだ』ということを一般に認識させることが大切です。そのために建築士事務所の各々が、日ごろの業務活動を通じて努力するのは当然のことです。しかし低迷を続ける建築業界においては、量的な不足状態から採算を度外視した過当競争が行われ、これに絡みダンピング問題が我々事務所の経営上の問題ともなっている昨今であります。

設計監理業務に関する大臣勧告（1206号）もありながら無きにひとしい現在、「安い設計料でもりっぱな仕事をするんだ」「建築家のモラルを持ってやるんだ」「忠実にやるんだ」という建築家の方も大勢いるだろうと思います。

私達建築家が設計する場合、機能性をまず追求します。さらに合法性、安全性、経済性においても十分満足のいく建築物を作るよう心掛けています。創られたものが美しく、それを使う人々にとって誇れるような建築であらんことを願う建築家の心が設計業務の基本としてあるのではないかでしょうか。線一本引くときも、材料一つ決めるにしても、自分の今までの経験と創造力・知識・学識といった総合的なものがその基盤になっているわけです。

私は調和のとれた建築を創ることに向かって、とことんつき詰めていきたいといつも願っております。建築は敷地の条件、機能、予算、工期、工法が毎回違い、同じ条件の建築はめったにありません。いつも特殊な答えが要求されます。一般的な答えでは通用しない業務とも言うべきでしょうか。

現在のようにダンピングがまかり通る時代では、財産の保全、生命の安全と国や地方文化の興隆の一端を担っている自覚すら薄らぐ気がしてなりません。

良い建築、優れたデザインの建築を創るという事は、良い街並みを創ることになり、それが地域社会文化に関わり合いを持ってくる、ということを社会に理解していただくよう、日ごろの業務を通じてもっともっと主張しなければならないのではないでしょうか。

飯島一級建築士事務所所長



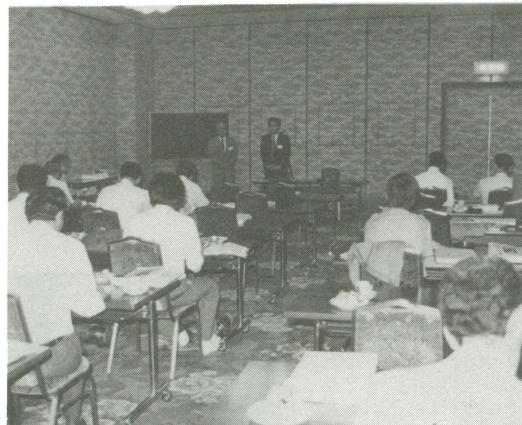
技術
交流会

勉強の場として定着

事務所所員の参加も増加

当協会が一昨年7月から実施してきた技術交流会が、今年7月20日の交流会で第10回を迎えた。これまでに発表いただいた賛助会員会社は実に17社に及ぶ。会員事務所所員の参加も次第に増加する傾向にあり、建築技術者の実質的な勉強の場として定着してきた感がある。

技術発表の方式も賛助会員会社によって様々。メーカーの技術者が行う製品の資料説明に加え、スライドによる現場説明。また、名古屋・東京においてショールームや実際活躍している設備機器の見学会



第10回を迎えた技術交流会

を実施する等、多彩な企画内容となっている。各々の事務所単位でメーカーが行う説明では対応できない、専門的で詳細な部分への質問が飛びかい、会員事務所同士の技術交流にも役立っている。

第10回技術交流会では、交流会終了後記念のパーティーが開かれ、当日来賓として出席された県住宅部長(代理・宮沢、海野両技官)、信州大学工学部浅野助教授、長野県建設工業新聞社伊澤社長と会員、賛助会員がテーブルを囲み懇談、有意義な交流会の掉尾を飾った。次回交流会の開催は11月25日、グリーンホテル(松本市)の予定。会員、賛助会員の多くの参加が期待される。

炭平本店、松田産業が発表

7月20日、第10回の技術交流会が長野市の山王共済会館で開かれ、(株)炭平本店、松田産業(株)が扱う製品の技術発表が行われた。

(株)炭平本店は、井上エムテープ(株)の断熱材、ウレタン系発泡材の使い方を中心に、外断熱・内断熱工法をRC・S造などの実例で示し、断熱計算の方法などを発表した。寒冷地域には欠かせないテーマだけに“熱気”が入って、大変興味深い内容であった。

松田産業(株)が販売している日立ビル管理システムについては、日立の専門講師が熱心に解説。高齢化社会に対応した家屋構造、都市住宅様式を反映して、住宅用の小型エレベーターの普及が意外に進んでいること。また、現状普及しているエレベーターのうち20%が油圧型であることが説明され、寒冷地でしかも屋根の持つ建築を作っている私達には有難いニュース。また人口の大都市集中が市街地再開発等によって再燃している等、エレベーター業界としての分析が興味深かった。

設計者の選び方PR
建築4団体が小冊子発行

どうしたら良い建築設計者を選定し優れた建築を造ることができるんだろうか——高層ビル建築からマイホームづくりまで、建築主が総じて持つ悲願でもある。特に国民的財産ともいるべき公共建築を造る地方公共団体にとって、設計者の選定業務は非常に重要な役割であろう。

こうした中で建築設計の4団体による『一入札によらない一建築設計者の選び方』という小冊子が発行され話題を呼んでいる。

小冊子を発行したのは、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会と日本建築設計監理協会連合会の4団体。それによると、競争入札以外の設計者選定方式として「特命方式」「面接・ヒアリング方式」「プロポーザル方式」「エスキス競技方式」「設計競技方式」を掲げ、建築に質の欠陥が生じる恐れがある入札を止め、入札以外

の方法で選定する方向へ転換するべき時期だとしている。

また、入札以外の方式で設計者を選定した場合の設計者に支払われるべき業務報酬の基準としては、建築士法25条の規定に基づき、建築設計監理業務報酬基準（建設省告示明示している。

4 団体では都道府県の設計監理協会を中心に、各市町村の契約担当者に配布することで、建築設計者選定について理解を深めてもらう考えだ。

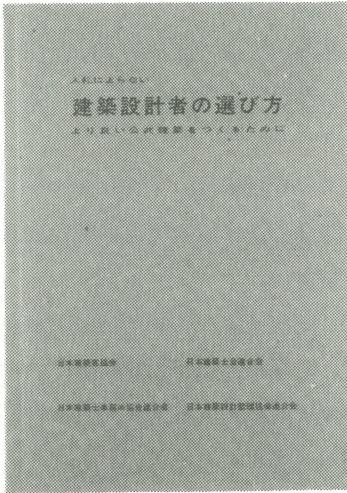
入札・併用が75%

設監連=設計者選定でアンケート

日本建築設計監理協会は7月、昨年6月以来日本建築家協会と協同で実施していた建築設計者選定・発注方式に関する調査について報告書をまとめた。

同調査は、設監連が推進している発注方式改善運動の一環として、全国の自治体（市を中心）を対象に行なったもの。回答率は65%。

それによると、回答のあった474の自治体のうち、



「入札のみ」と「併用」を合わせた“入札を実施している自治体”は74.7%。一方、長野県下で入札を実施している自治体は93%と全国を大きく上回っている。

調査では入札、併用、特命と回答した自治体にそれぞれ理由を聞いています。主として入札を採用している自治体は▶問題があるがやむをえない▶機会均等に設計者を選べる▶手続きが簡単一が主な理由。

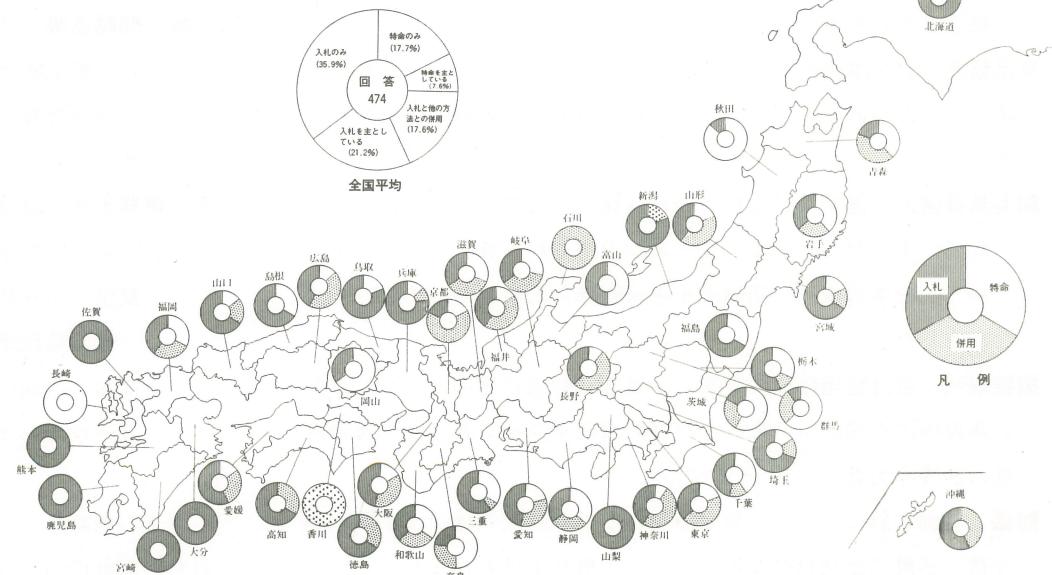
一方特命を主としている自治体（25.3%）は▶設計報酬による競争は不適当▶入札では相互の信頼関係が生まれない▶入札では最適な設計者が選べない

一と強く入札による設計者選定に反発している。

全体的に入札を採用している自治体が多いものの、その採用理由は便宜的なものが多い。ただ入札以外の方法を検討する考えのある自治体は15.4%と少なく、採用に難色を示している自治体が多いのも実情だ。

設監連としては調査結果をもとに、「入札によらない設計者選定」を一層普及させていきたい考えだ。

公共建築物における設計者選定方法についてのアンケート結果



第1回所員委員会開く

計画工房都市建築設計事務所 佐藤 友治

去る10月18日、第一回所員委員会が北沢委員長(伊藤建築設計事務所)の招集で開催されました。当日はオブザーバーとして私と伊藤建築設計事務所の丸山部長が、また取材編集の立場から長野県建設工業新聞社の若林記者も出席されました。

所員委員会会員の出席は部長以下10人。各事務所より代表として出席いただき、次の様な形で議事が進められました。

1. 開会：開会のあいさつとして北沢部会長が経過と基本的な考え方等の報告と意見を述べられました。
2. 自己紹介：会員事務所間の交流がもう一步ということで、お互い面識のない方もありました。このため自己紹介と名刺の交換を行いました。
3. 副委員長選出：従来所員委員会発足直後に委員長と副委員長が選出されていましたが、副委員長一名が退所され欠員となっていましたので、松本の飯島一級建築士事務所細川氏にお願いすることになりました。
4. 概要説明：設計監理協会の概要と所員委員会設立経過について、会員事務所の立場から一般的な範囲の説明をさせて頂き、今後の活動の前提をお話し申し上げました。
5. 討議：活動方針について活発な議論がなされ、次の様なポイントが今後の活動の出発点になるものとして取り上げられました。

(一)、**勉強会** 各会員事務所の所長に順次講師になって頂いて、建築家の先輩として「建築に対する考え方」「設計理念」といった基本的事項等について講議して頂こうという趣旨。交流を深める上でも、自分の所属する事務所以外の先生方の“生の声”を是非聞いてみたいと思います。

(二)、**会報への参加** 従来より会報には2頁のスペースが確保されていますが、必要なら増頁し所員間の交流や意見交換の場として欲しい旨、お話ししました。

(三)、**セミナー等の開催** 作品見学会や鑑賞会、大手事務所の設計者等との意見交換など、全事務所が合同で研修できるようなセミナーが開かれれば、との事でした。技術交流会との関係もあるので、今後の検討課題となりました。

(四)、**問題点等** 活動上の問題点については次の点があげされました。
▷年齢制限の意義について▷若い年代の所員への情報伝達について▷会費等、活動費について▷事務職等技術職員以外の所員の立場について▷その他、理事会側の意向について

6. **事務手法**：事務所間の連絡機関としてブロックごとに幹事事務所を定めた。幹事事務所は次のとおり。

東信=尾島建築事務所、**北信**=(株)宮本忠長建築設計事務所、**中信**=(株)伊藤建築設計事務所、**南信**=(株)桂建築設計事務所。

なお、次回は宮本忠長建築設計事務所を幹事として所員部会が予定されています。

以上の内容について具体的な活動が始まることとなりました。所員委員会の開催に当たり、伊藤建築設計事務所の御厚意に感謝致します。

芸術と技術を社会化する

=所員委員会の活躍を祈念して=

佐藤友治

所員委員会の第一回ミーティングが開かれ、正会員の立場と会報づくりの御手伝いの立場から、設計監理協会と所員委員会の概要を説明させて頂きました。出席された所員の皆様には意図をくんで頂けたかと存じます。“所員”から“所長”になったばかりの立場ですが、少し所感を述べてみたいと思います。

設計監理協会の会員として考えるべきは、基本的に設計監理者の職能の確立を目指す事です。ただ、これについては所長、所員の立場を越えて、ひとりひとりの設計監理者として連帯し努力していくべきことだと思います。その意味で所長だけが参加する協会ではなく、所員も職業人として協会の活動に積極的に参加して頂きたいと思います。所員委員会は参加のための良い機会になるかと存じます。

ここでは長野県の建築の次の世代を担う個々の設計者が、それぞれに交流し、相互に勉強し合う場としての意味も考えてみたいと思います。

私自身「建築家」を職業として選んだ時から、学ぶことと失敗することを繰り返して成長してきたように思います。それを許して受け入れて頂いた先輩や地域社会の方々に、何んとか報いるために尽くしたいと考えているこの頃です。交流を深めることによって、次の世代の長野県の建築を創る意欲を燃し続けることになり、諸先輩の切り開いた道を少しでも続けられればと思っています。

吉阪隆生という野人の建築家が、建築家の定義について語っています。



活動計画が話し合われた所員委員会

『自然の真理を追求する科学者が居る。科学は技術者によって“技術”とされる。一方で美の発見と創造を人間社会は必要とし、芸術の世界が存在する。建築(Architecture)は「芸術」(Art)と「技術」(Technique)との結合である。そして「建築家」(Architect)は、その社会化を職能する』

吉阪先生が芸術と技術を社会化する仕事として、建築家について語っていた頃、ちょうど早稲田大学建築学科の1年生だった私は、設計者への志向をはっきり意識したのでした。

「ライト感覚」と言われる時代ながら、建築の社会性は経済社会の中にあって増え重みを増しております。その中で建築が芸術と技術を社会化するという意味は、永久に続いていくものと思います。その意味からも地域社会と協調しながら建築家の立場を創りあげ、結果として優れた建築文化の存在する社会とすることが大きな目標になるかと思います。『夢を語る機会』『現実を見直す機会』として所員委員会の活躍を心より祈念させて頂きます。

会員事務所作品紹介

（株）城取建築設計事務所

取締役社長 城取 義直

所在地／伊那市伊那5561

設立／昭和38年4月 所員数／25人

南アルプスと中央アルプスに囲まれ、天竜川が形づくった河岸段丘に代表される自然環境。この中で気候・風土に密着し、古き良き伝統の中から「質実剛健・機能的で快い生活空間を如何表現するか」をテーマに積極的に取り組んできました。今後も新しい時代の要求に対し、これまで培った創造力、組織力、技術力を充分に生かして地元に根づいた建築創造活動に努力していきたいと考えています。



▲南箕輪村役場庁舎



南箕輪村役場庁舎

所在地／上伊那郡南箕輪村 建築主／南箕輪村 構造規模／S R C 造地下1階地上4階、P H 1階、延べ $4,223.5m^2$ 竣工／昭和56年6月

庁舎は行政需要増大に対処するため建設された。利用に便利なように、1階フロアーに行政事務の全てを配置。議場は3階にあり、斜線制限から階高を抑えなければならなかったものの、中空スラブの採用により議場であるがゆえの天井高の要求に対処した。

I.M.T. 宮田工場

所在地／上伊那郡宮田村 建築主／インターナショナル・マイクロテクノロジー(株) 構造規模／R C 造2階延べ $5,717.2m^2$ 竣工／昭和59年4月



▲ロジテック伊那研究所

ロジテック伊那研究所

所在地／伊那市美篶 建築主／ロジテック(株) 構造

規模／S造2階延べ5,710.7m² 竣工／昭和58年5月

同社が持つコンピュータのイメージを水平線で表現、階高を低く抑えることで回りの松林と一体感を持たせ、白色で仕上げることで対比の調和を考えた。

平面計画では、正面玄関と従業員玄関を結ぶ中廊下を軸に各部門を配置。中廊下に大きなトップライトとグリーンを設け、明るく快い軸空間を心掛けた。



▲長野トヨタ伊那配車センター

長野トヨタ伊那配車センター

所有地／上伊那郡南箕輪村 建築主／長野トヨタ(株)

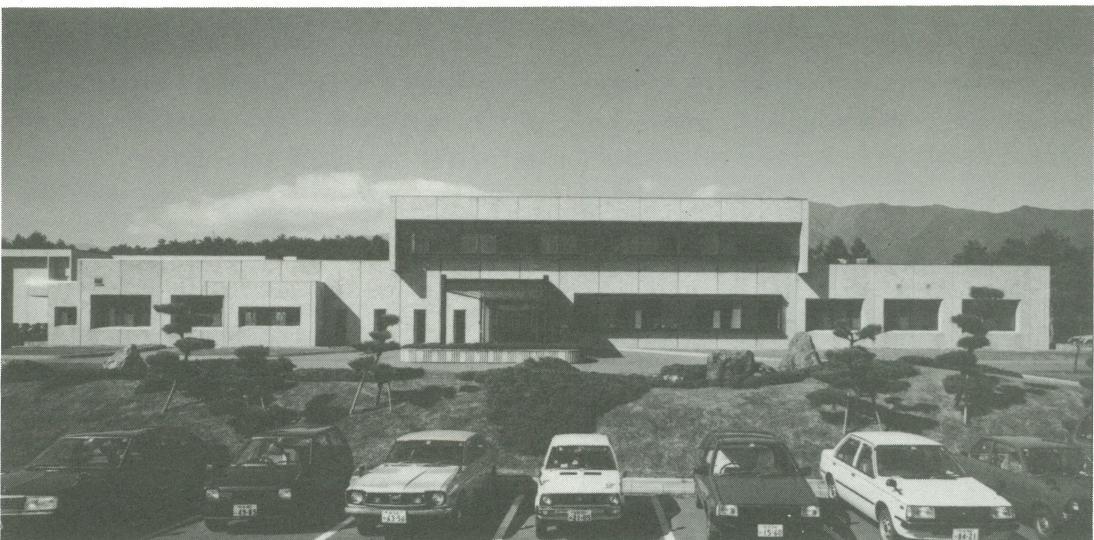
構造規模／S造1階延べ801.9m²、開発面積47,762.1m²、900台駐車可能 竣工／昭和57年1月

中外製薬伊那リサーチ

所在地／上伊那郡南箕輪村 建築主／中外製薬(株)

構造規模／S造+R.C.造地下1階地上2階延べ7,804.7m² 竣工／昭和59年6月

伊那リサーチは、医薬品、化成品などの安全性に関する動物実験を主要な業務とする研究所。研究室部門はバイオクリーンルームであり、床の仕上材、床と壁の納り、壁と天井との納り等、建築的考慮とともに空調方式にも十分な配慮がなされている。



▲中外製薬伊那リサーチ



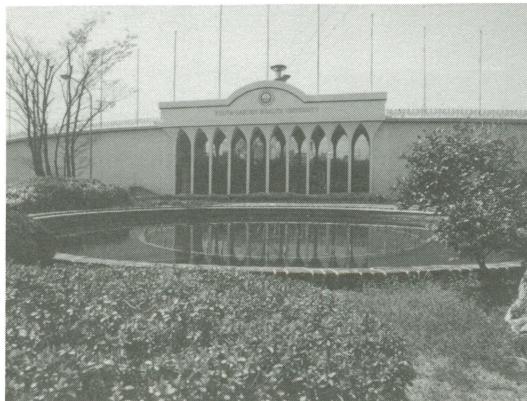
テクニカルシート

GRC（ガラス繊維補強セメント製品）

東海コンクリート工業株式会社

（県下販売代理店 株式会社 鍋久）

GRC とは、Glassfiber Reinforced Cement の略称で耐アルカリ性ガラス繊維セムフィルの誕生によってはじめて出現した新しいセメント複合素材です。セムフィルは、英國国立建築研究所と英國ピルキンソン社が共同で開発した新しいガラス繊維です。ガラス繊維をセメントに混入してセメントの物理的性能を高める研究は以前より行われてきましたが、普通のガラス繊維ではセメント中の強いアルカリ性のために長期に亘って補強効果を保つことができませ



んでした。これをガラス組成の改善によって克服したのが画期的な耐アルカリ性ガラス繊維セムフィルなのです。当社では、10年前このセムフィルを使用した製造技術を導入し、数多くの試験研究を行って実用化いたしました。GRC の製造は目的に応じいろいろな成形方法が可能ですが、主として次の 3種類です。

ダイレクトスプレー法

セムフィルローピングをチップ状に切断しながらモルタルと同時に型枠に吹き付け成形します。

この方法は薄肉板の成形に適し繊維の対向性も 2 次元ランダムとなり補強効果が高くなります。

スプレーサクション法

ダイレクトスプレー法と同じ方法で成形したもの を真空脱水し即時脱型する方法です。

この方法はセメントの水和に対して過剰に存在する水を脱水する事により、高密度・高性能にする製法です。なお脱水後の GRC はある程度の自己保有能力を持ち、曲げ加工する事が可能です。この製法を採用しているメーカーは少なく、当社独自の技術蓄積を有しています。

プレミックス法

特殊ミキサーによりセムフィルチョップストランドとモルタルを同時に混練りし型枠に打込みます。

この方法は比較的簡単ですが、強度的には上記の方法に比べて劣ります。

また、GRC は次に示すような特長があります。

①完全不燃材料です。

GRC はセメントガラス繊維および骨材より構成さ

れていますから完全不燃です。

②ガラス繊維の補強により曲げや衝撃に強い性質を示します。

③自由なデザインを可能にします。

セメントがもつ自由な造形性とガラス繊維の相乗効果で板状、柱状、筒状などの基本形をはじめとしていろいろな形状の製品をデザインすることができます。

④従来のセメント製品では考えられなかったスリムで薄肉の設計が可能です。

⑤軽量です。

GRC はガラス繊維の補強効果により極めて薄肉のものを成形することが可能であり軽量化に有効な材料です。

このような特長を持つ GRC の用途は広く、いろいろな応用もでき次のようなものがあります。

▶建築材料

外装材 カーテンウォール、外壁パネル、パラペット、スパンドレル、屋根材。

内装材 壁材、床材、天井材。

型枠 埋め込み型枠（化粧型枠）。

▶土木材料

型枠 埋め込み型枠。

パイプ 電線管、ヒューム管。

道路用 防音壁、道路標識、舗装用補強材。

その他 側溝、ケーブルダクト、ランニング材、屋外ファニチャ。

▶海洋、漁業材料

▶農業、畜産材料

サンロイドDN防水システム

筒中シート防水株式会社

(県下販売代理店 株式会社 本久)

当社は、筒中プラスチック工業株式会社が新分野への事業展開の一つとして西独ディナミット・ノーベル社との技術援助契約に基き、昭和49年2月20日にDN防水システムの材料販売並びに、これに伴なう工事営業を目的として創業しました。

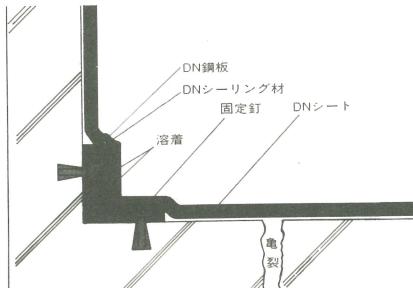
サンロイドDN防水システムは、西独ディナミット・ノーベル社が多額の開発費を投じて建築・土木用に開発した特殊軟質ビニルシートを、当社が技術導入したものであります。この防水システムの優秀性、特に材料の耐久性と施工の完璧性は、国産品による数多くの施工実績から実証されています。

また、このシステムは防水下地に対する絶縁三法であること、防水作業環境の改善がはかれること、工期が短いこと等の利点があり、皆様方の御要望にお応え出来るものと確信しております。

サンロイドDN防水とは

- ①防水用途に対応した物性を持つDNシートの品種を用意していること。
- ②コーナー部に、耐蝕性にすぐれたDN鋼板を固定し、それにDNシートを溶着、軸体にはDNシートを接着しない絶縁工法をとり軸体の亀裂振動の影響をうけないこと。
- ③DN溶着剤で接合部を完全に一体化すること。
- ④DNシーリングT材を接合部に塗布し、その固化によりシートと一体化、更に防水性能を高めること。

⑤湿潤な下地への施工が可能、また寒冷下での施工が可能であること。あります。



用途別特長

- ▷屋上防水——耐候性の優れたDNシートS、SVをを使用しますので露出防水に最適です。
- ▷蓄熱槽——DNシートTは温水(60°C)~冷水(5度C)の繰返しに長期間充分に追随します。
- ▷プール——DNシートWBは耐候性、耐薬品性に

優れており長期間色調、物性の変化なく使用できます。

【サンロイドDN防水システムの材料】

サンロイドDNシートは塩化ビニル樹脂を主成分として、特殊な配合、製造によりつくられたシートであります。

創立10年を目前にし、更に一段と飛躍し優秀な企業とする為、初心にかえり①材料の改善と新品種の開発向上②完全工事の実績の積み重ね③補助材料の改良と施工用具の開発④工事の単純化による工数低減⑤全国に施工体制の配置と強化⑥販売店へのDN防水研修⑦技能向上をめざし技能検定制度⑧工事実績の分析による課題の発見と活用。以上の各事項を再度実施し、皆様の御要望に即応すべく、サンロイドDN防水システムを更に一層の研鑽も重ね、完全防水の実績を積み上げると共に改良改善、開発を積極的に進め、業界に貢献したいと存じます。

用 途	特 長	品 種	サ イ ズ(m)	厚み/mm	m ² /本	kg/本	色 調		
屋 上 用	耐候性、耐オゾン性、耐磨耗性、耐寒性、耐薬品性	S	1.0×30	1.0	30	38	シルバーグレイ		
			1.0×20	1.3	20	36			
			1.0×20	1.5	20	38			
	耐熱性、耐候性、耐微生物性、耐鹹性	S-DG	1.0×15	2.0	15	38	ダークグレイ		
			1.0×20	1.3	20	36	ダークグレイ 歩行立ち用		
	無毒性(水道法、厚生省告示に適合する)	SV	1.0×15	2.0	15	38	ダークグレイ		
蓄 热 槽・ 消火水槽用			1.0×30	1.0	30	41	イエロー		
			1.0×20	1.5	20	41			
耐候性、耐オゾン性、耐薬品性、耐寒性	T	1.0×30	1.0	30	39	ラベンダー			
		1.0×20	1.5	20	39				
飲 料 水 槽 用	水蒸気透過抵抗大	DS	1.0×40	0.5	40	28	ブラック		
			1.0×25	1.5	25	51	フロリダブルー		
	耐候性、耐オゾン性、耐薬品性、耐寒性	WB	1.0×20	2.0	16.5	35	フロリダブルー 滑り止め用		
			1.5×1.5	2.0	22.5	61	グリーン		
薬 品 タン ク 用	耐薬品性	I					ダークグレー		

信濃路の思い出

今井通子

「さあ、さあ、さあ、上がりまっしょ、上がりまっしょ。」

私は母の後からその家を覗きこんでいた。清さんが、縁側の廊下に座布団を並べ、さかんに“上がりまっしょ”と繰り返す。私は思った。このおじさん、へんな人だなー。なぜって自分は家の中に居るくせに、上がりましょう、上がりましょうと、自分が外から中に入る時に、いっしょに上がろうという行動をする時言う言葉を言っているからだ。

私がまだ小学生の頃のことだ。蓼科に、今で言うセカンド・ハウスを親が買った。清さんは、その管理をして下さる方で、毎夏、蓼科へ行くと母は清さんのお宅に挨拶に行っていた。母について行った私は、この時の“上がりまっしょ”が不思議でしかたなかったのだ。

信濃路と言えば、山好きな私は、北アルプスをはじめ、山々へは良く行ったり、冬はスキーで、白馬、戸隠、岩岳、菅平、場所を挙げればきりが無いほど行っている気がする。でも、私の信濃路はやはり、ちょっと端っこの方でも、茅野から行く蓼科、また、蓼科にて、遊びに出かけた諏訪湖になりそうだ。

夏祭りの日、プール平の広場で清さんが良い声で歌う。

♪木曽のなーあ、なかのりさんーん

皆、彼の歌に合わせて、盆踊りに興じた。そんな時、ブヨにさされながら私は清さんが、ノリさんの事を歌っているんだなーなんて思っていた。ノリさんというのは獣医さんで、蓼科にはその頃から、観光客を山

まで乗せて行ってくれる馬がいっぱいいたから、その地には欠かせない存在の人だった。そして、ノリさんと清さんは知り合いだった。

今では、“上がりまっしょ”もナカノリさんも理解しているが、いずれにしても、自然の美しさもさることながら、私の信濃路には、幼い頃知る事のできた人々の、日焼けのにおいと自然体で物を言う親しみやすさがある。

(いまい・みちこ／登山家)



佐野秀二・絵

【賛助会員名簿】

会社・団体名	担当地	連絡電話番号	会社・団体名	担当地	連絡電話番号
鐘淵化成工業(株)	東京都港区元赤坂1-3-12(赤坂センタービル)	(03) 405-1018	(株)長野ナブコ	長野市川中島町四ツ屋1216	(0262)84-1121
積水化成品工業(株)	東京都新宿区西新宿2-1-1(新宿三井ビル)	(03) 347-9639	松本YKK産業(株)	松本市笛賀6010-3	(0263)26-4134
(株)ナカジマ	佐久市新子田1855	(0267)67-3669	三和シャッター工業(株)	長野市川合新田村西958	(0262)21-1130
(株)甲州屋	長野市鶴賀七瀬東通り271	(0262)26-3101	新日軽(株)	長野市青木島町大塚917-1	(0262)83-1221
(株)富倉屋	長野市稻里町1-6-25	(0262)85-2011	セントラル硝子(株)	飯田市松尾3093-1	(0265)22-1601
綿半鋼機(株)	長野市南長池205	(0262)44-6500	(株)前田鉄工所	長野市吉田4-14-8	(0262)43-0261
(株)本久	長野市北長野通り3-601	(0262)41-1153	中信電機(株)	長野市稻葉母袋沖772	(0262)27-1235
(株)角藤	長野市東鶴賀町60	(0262)33-0101	松田産業(株)	長野市南長池古新田369-5	(0262)43-3222
(株)鍋久	長野市若里1972	(0262)27-3115	東陶機器(株)	長野市中村259 昭和ビル4F	(0262)28-7828
(株)オーエクサ本社	佐久市野沢94-1	(0267)62-2345	富士厨房設備(株)	長野市栗田175	(0262)26-3225
前田製管(株)	長野市南堀651-7	(0262)44-5221	長野三菱電機機器販売(株)	長野市卸センター	(0262)28-7111
岩崎電気(株)	長野市川合新田3767	(0262)28-2585	第一公害プラント(株)	長野市日詰沖1731	(0262)21-5520
東洋プレコン工業(株)	岐阜市忠節町3-58	(0582)65-2311(代)	(有)遠藤厨房機器製作所	埴科郡戸倉町上徳間162	(0262)6-1100
小町田デュロックス(株)	松本市城西1-1-45百瀬ビル3F	(0263)36-0452	(株)長野コクヨ	長野市吉田3-2-12	(0262)41-0250
藤村ヒューム管(株)	長野市中村町336-11	(0262)44-2282	滝澤家具(株)	長野市北尾張部117	(0262)44-0131
(株)日創建材	長野市青木島1-18-13	(0262)83-1414	(株)岡村製作所	長野市栗田舍利田653(栗田ビル内)	(0262)27-2330
昭和鋼機(株)	新潟県新潟市篠口2-7-16(和田ビル)	(0252)41-3125(代)	サンリビング長野営業所	長野市栗田653(栗田ビル内)	(0262)27-1528
(株)栗本鉄工所	東京都港区新橋4-1-9	(03) 436-8233	ホーチキ(株)	長野市鶴賀七瀬町578-10	(0262)28-3622
日本旭化成建材(株)	東京都千代田区内幸町1-1-1	(03) 507-7574	ニッタク(株)	長野市青木島町1-36-7	(0262)27-5528
(株)丸六鋼材店	長野市小島田町中村西沖1875	(0262)85-3606	岩月瓦工業(株)	佐久市太田部312	(0267)62-0336
富国物産(株)	長野市東和田806	(0262)43-1321	大日本塗料(株)	長野市南高田中下河2101	(0262)21-3000
昭和興産(株)	大町市大町6850	(0261)22-3944(代)	日本ステンレス(株)	東京都新宿区本塙町8-2	(03) 358-2511
(株)炭平本店	長野市北長池1667	(0262)43-6111(代)	田島ルーフィング(株)	東京都千代田区岩本町3-11-13	(03) 863-5631
大同コンクリート工業(株)	名古屋市中区栄2-9-3兼松商名古屋支社ビル3F	(052)203-1381	坂田工業(株)	長野市妻科434	(0262)34-3168
(株)サンゲツ	長野市青木島町大塚1542-17	(0262)84-7761	古河電気工業(株)	東京都千代田区丸の内2-6-1	(03) 286-3482
(株)岩野商会	長野市三輪6-26-22	(0262)34-1661	矢崎総業(株)長野支店	長野市高田1744-1	(0262)43-5133
(株)ニチベイ	長野市三輪1-9-18	(0262)44-7767	イトーキ長野支店	長野市中御所町3-63	(0262)28-3288
田島応用化工(株)	松本市双葉3-2	(0263)27-1841	立山アルミニウム工業(株)	長野市青木島町大塚1106	(0262)84-9565
信越化学工業(株)	長野市中村町259	(0262)28-9104	サンエイ(株)	長野市上高田1260	(0262)27-9731
立川ブラインド工業(株)	松本市白板2-4-21	(0263)34-1790	日本屋陶器瓦協業組合	下伊那郡喬木村1388-2	(0265)33-2150
(株)シマコ一	松本市笛賀7600-2	(0263)58-0456	桜井塗装工業(株)	長野市栗田1021-16	(0262)28-3723
シンコール(株)	長野市稲葉母袋沖614	(0262)21-5881	(株)寺岡オート・ドア長野	松本市芳川村井町255-5	(0263)58-0777
三協アルミニウム工業(株)	長野市三輪1-1-26	(0262)44-1101	マックス電機(株)東京支店	東京都目黒区中目黒1-4-20サードリーハイツ	(03) 791-2711
ヤマキ工業(株)	須坂市八町1896	(0262)45-1015			

会務報告

7月25日=設監連第1回理事会（建築家会館）宮本会長出席。議題は①設監連「行動規範」（案審議・承認について②10周年記念事業・第2回大会について③6月末収支報告について④その他。

8月29日=第1回建築設備電力懇談会（中部電力㈱長野営業所）宮本会長出席。議題は①建築設備電力懇談会の発足について②建築設備電力懇談会の概要について（運営要領他）③昭和60年度活動計画について④中部電力からの情報提供⑤その他。

9月12日=設監連第2回理事会（建築家会館）議題は①創立10周年記念・第2回大会に向けて②講習会運営について③8月末収支報告について④その他。**27日・28日**=設監連創立10周年記念大会（京都国際会館）尾島副会長、松下会員、久保田、新井所員部会員出席。

10月18日=第1回会員所員部会（松本市㈱伊藤建築設計事務所）議題は①自己紹介②副委員長選出（欠員分）③所員部会の概要説明④今後の活動方針について討議⑤その他。**22日**=第3回理事会（松本市「サンルート松本」）議題は①正会員、賛助会員動静の報告②会員所員部会の支援について③会員増強の具体案について④連合会報告⑤その他。**25日～27日**=長野県増改築フェア（上田市上田市民体育館）尾島副会長、斎藤理事出席。

【住所変更】

（賛助会員）10月11日、長野出張所を移転。

（㈱）サンゲツ

新 長野市青木島町大塚1542-17

☎0262(84)7761 (〒381-22)

（㈲）長野市早苗町82

☎0262(35)3543 (〒380)

〔正会員名簿〕

事務所名	代表者名	所在地	電話番号
飯島一級建築士事務所	飯島和夫	〒390-03 松本市岡田松岡25-12	(0263) 46-2268
（㈱）伊藤建築設計事務所	伊藤宗春	〒390 松本市城西1-8-19	(0263) 32-8200
（㈱）エア・ハイツ設計事務所	斎藤英彦	〒385 佐久市猿久保780-6	(0267) 68-2311
尾島建築事務所	尾島正吉	〒386 上田市踏入2-11-8	(0268) 22-0645
（㈱）桂建築設計事務所	南島宗市	〒395 飯田市桜町1-41	(0265) 22-7234
久保田建築設計事務所	久保田三代	〒389-25 下高井郡野沢温泉村9604	(0269) 85-2121
計画工房都市建築設計事務所	佐藤友治	〒380 長野市上千歳町1413	(0262) 34-2501
小松一級建築士事務所	小松蒼一	〒390 松本市開智2-1-12	(0263) 35-5665
（㈲）坂本建築事務所	坂本三郎	〒391 茅野市宮川5425-1	(0266) 72-6128
（㈱）城取建築設計事務所	城取義直	〒396 伊那市大字伊那5561	(0265) 72-7271
（㈱）マルタ建築事務所長野出張所	須田考雄	〒380 長野市県町459 旭町ビル	(0262) 32-1616
（㈲）みすゞ設計	松下重雄	〒395 飯田市本町3-30	(0265) 52-1638
（㈱）宮本忠長建築設計事務所	宮本忠長	〒380 長野市柳原1875-1	(0262) 41-5510

編集室から

設計者、建築家、建築士、設計業者と巷の印刷物には実に様々な表現がある。ということは、建築設計の仕事の内容が的確にとらえられておらず、また一般的の認識も実にまちまちであることの証拠であろう。

例は余りよくないが、施工者に対する設計者、施工業者に対する設計業者、画家・芸術家に対する建

築家、設備士・技能士に対する建築士等々、社会通念上の呼称、法律的な呼称、行政的な呼称等々の故をもって、一般の人に対し紛らわしい認識を生じているのであろう。単なる建築技術者の枠から、建築技術によって淘汰された人格にまでおよんで、その目指すものは実に奥深い。

長野県建築設計監理協会会報第12号

昭和60年10月28日発行

編集人／小松蒼一 発行人／宮本忠長

発行所 長野県建築設計監理協会

作成 長野県建設工業新聞社

豊富な経験
確かな技術で
責任施工
(総合建築防水)

坂田工業株式会社

長野市妻科434
TEL 0262-34-3168(代)
FAX 0262-34-0277

アルミサッシュ、カーテンウォール、
型鋼カーテンウォールの総合メーカー

 昭和鋼機株式会社
新潟営業所

新潟市笹口2丁目7番16号(和田ビル)
TEL 0252-41-3125
本社 東京都板橋区前野町6丁目1番10号
TEL 03-969-1101

床暖房システム 融雪システム

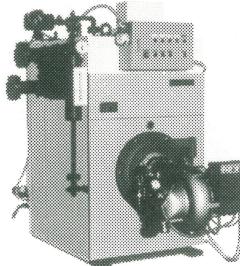
電気、温水による床暖房や屋根、道路の融雪システムにより冬の快適ライフをお届けします。

快適な生活環境づくりにとりくむ

古河電工

本社 東京都千代田区丸の内2-6-1 ☎ (03)286-3480
名古屋支店 名古屋市中区東桜2-22-18 ☎ (052)931-8871
大阪/九州/広島/東北/札幌/高松/富山/浜松/豊田/沖縄

優れた寿命、性能、経済性
鋳鉄製 前田真空式温水ヒータ



MFV シリーズ

- 省エネルギー
- 省力
- 省スペース

70余年の伝統が
生きています。

 株式会社 前田鉄工所

取締役社長 前田市也
本社・工場 長野市吉田4丁目14-8 ☎ (0262) 43-0261
営業所 東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、広島、長野

KOKUYO

優しい曲線の中に、人間工学に基づいた先進のメカニズムを満載して、椅子を超えた椅子が、いま生まれました。

先・進・の・椅・子

BIO
BIO-TECH CHAIR

コクヨ
バイオテックチェア

株長野コクヨ 長野市吉田3-2-12 ☎ (0262) 41-0250
株長野コクヨ塩尻営業所 塩尻市大字広丘堅石2145-24 ☎ (02635) 2-2166



長野県建築設計監理協会